

令和 6 年度北区立滝野川第二小学校（園） 自己評価報告書

令和 7 年 2 月 2 日

校・園長氏名 堀之内 真理子



グラフ上段 保護者
中段 学校評議員
下段 本校教員

1 自己評価の結果と分析

左から ① そうだ ② だいたい そうだ ③ あまり そうでない ④ そうでない ⑤ わからない

評価項目	結 果	分 析
① 児童は、楽しく学校に通っている。		保護者の肯定的評価は、94.8%、学校評議員については100%であった。「児童が、楽しく学校に通っている。」の結果より、日常的に学校全体で児童に寄り添い、温かい雰囲気をもって教職員が指導に当たっていると考える。
② 学校は、挨拶や言葉遣い等、基本的な生活習慣が身に付くように取り組んでいる。		三者と共に90%以上の肯定的評価を得ている。「あいさつ運動」の取組を継続的に行ったことにより、すすんで挨拶をする児童が増えてきている。年間を通しての取組を情報発信することで、保護者への周知をさらに広めていきたい。
③ 学校は、集団生活のきまりやルールを守って生活するように取り組んでいる。		保護者の肯定的評価は、96.6%、学校評議員は100%と非常に高い評価を得ている。「滝二小のきまり」を年度初めに、保護者会で周知し、児童へは、継続的に集団生活のきまりやルールの指導を行った。どの学級でも同じ指導ができるように、生活指導夕会を活用して、徹底を図った。
④ 学校は、道徳や人権教育等、心の教育の充実に向けて取り組んでいる。		保護者より、94.4%の評価を得られた。本校の取組の一つである北区総務部多国籍社会推進課と人権擁護委員と連携した人権教室の実施や道徳授業地区公開講座の開催により、取組内容についての理解を得られたと考える。
⑤ 学校は、児童の悩みや保護者の相談に誠実に対応している。		保護者の肯定的評価が、92.2%であった。「学校いじめ防止基本方針」をHPや保護者会で周知して、理解を得るとともに、年3回のふれあい月間やWEBQ調査を活用し、いじめの未然防止、早期発見に取り組んだ結果と考える。
⑥ 学校は、児童に分かりやすく、意欲をもって取り組めるよう、授業改善に取り組んでいる。		保護者の肯定的評価が、89.6%であった。また、「わからない」の回答が7.8%もあった。どのように改善を図っているのか、授業の工夫をHPや「きたコン」で周知するとともに、各種の学力調査に反映されるようにしていく。
⑦ 児童は、学習内容の理解に向けて、最後まで諦めずに取り組んでいる。		保護者の肯定的評価は、90.9%、学校評議員は100%であった。児童のつまづき解消に向け、算数習熟度別少人数指導や学力PU講師や学級経営支援員等を活用し、個に応じた、きめ細かな指導を行った結果によるものと考ええる。
⑧ 児童は、「きたコン」の約束を守って学習に生かしている。		保護者の肯定的評価が、86.2%、学校評議員の肯定的評価が77.3%と課題となった。学習面での「きたコン」の活用を進めていく一方、「きたコン」のルールを保護者と共有し、改善に向けて連携していく必要がある。
⑨ 児童は、家庭学習に毎日取り組んでいる。		保護者の肯定的評価が91.3%であった。基礎的・基本的な学力の定着を図るための家庭学習の大切さを伝えるとともに、保護者会や個人面談を通して、学年×10分間の家庭学習の時間の必要性を共有できた結果と考える。
⑩ 学校は、児童の体力向上に努めるとともに、保健指導や食育の充実に向けて取り組んでいる。		保護者の肯定的評価は、93.4%、学校評議員は100%であった。体育の授業や体育的活動を充実させたことが、評価されている。また、保健指導や食育についての取組も周知したことにより、同様に評価されていると考える。

11 学校は、安全指導・避難訓練を時や場合を変化させ工夫する等、防災教育に取り組んでいる。	<table><tr><td>63.6</td><td>28.1</td><td>16.9</td></tr></table>	63.6	28.1	16.9	保護者の肯定的評価は、91.7%、学校評議員は100%であった。時や場合を変化させて工夫した安全指導・避難訓練を行ったことや防災教育への取組について情報発信したことによる結果と考える。
63.6	28.1	16.9			
12 学校は、学校だより等のおたより及び配信メールやホームページ、「まなびポケット」等で、教育活動を分かりやすく伝えている。	<table><tr><td>46.3</td><td>45.9</td><td>14.3</td></tr></table>	46.3	45.9	14.3	保護者の肯定的評価は、92.2%であった。また、学校評議員の肯定的評価は、100%であった。HPや「まなびポケット」等を活用して教育活動の様子についての発信し、高い評価が得られた。宿泊を伴う校外学習では、子どもたちの様子や活動をメールで配信し、保護者に安心してもらえるようにした。
46.3	45.9	14.3			
13 学校は、保幼小中の連携・交流や地域環境を生かした学習等、地域との関わりを大切にした教育活動を推進している。	<table><tr><td>54.5</td><td>33.3</td><td>18.2</td></tr></table>	54.5	33.3	18.2	保護者の肯定的評価は、87.8%であった。一方、学校評議員の肯定的評価は100%であった。隣接保育園や小学校、滝野川紅葉中学校との交流・連携をさらに深めるとともに、保幼小中一貫教育の推進について情報発信をより行っていく必要がある。
54.5	33.3	18.2			
14 学校は、学校行事の充実を図るとともに、読書や金管バンドクラブの活動等、特色ある教育活動を推進している。	<table><tr><td>59.7</td><td>32.5</td><td>15.6</td></tr></table>	59.7	32.5	15.6	保護者の肯定的評価は、92.2%であった。金管バンドクラブや環境美化ボランティア活動、読書等の「特色ある教育活動」の充実のため、地域・保護者とのつながりを深め、地域とともに児童の社会性や感性を育てる活動に評価を得られたと考える。
59.7	32.5	15.6			
15 学校施設が整備され、校舎内外の清掃も行き届いている。	<table><tr><td>56.7</td><td>37.7</td><td>10.6</td></tr></table>	56.7	37.7	10.6	保護者の肯定的評価は、94.4%、学校評議員は100%であった。月に一度の教職員による安全点検の実施や用務主事の常時活動等により、安全で清潔な施設設備の確保ができていく結果と考える。
56.7	37.7	10.6			

2 改善の方策

- ① 児童の実態や発達段階等を考慮し、児童に寄り添い、保護者に真摯に対応をしていきつつ安心・安全で開かれた学校作りを継続する。
- ② 豊かな社会性・人間性を育むため、児童による「あいさつ当番」の取組の充実を図るとともに、全教育活動を通して挨拶、言葉遣い、礼儀、社会規範等を身に付けられるよう、関わり合いを大切にして指導を展開する。
- ③ 全児童に生活指導が浸透しやすいように、全校朝会や放送朝会、学年集会等の指導形態の工夫を図っていく。
- ④ 多様性を理解し、互いに尊重していく心を涵養できるように、人権教室や道徳教育の推進を図っていく。
- ⑤ いじめを予防するための学級風土の醸成や教育相談の力を向上させるための校内研修を行っていく。SCによる面談なども活用し、いじめ等の未然防止に努める。
- ⑥ 各種学力テストの分析を生かして、朝学習や学力フォローアップ教室、スタートアップ教室等の学力向上の取組をより効果的なものとしていく。
- ⑦ 個別最適な学びの実現に向けて、学力PU講師や学級経営支援員、学生ボランティア等を活用し、計画的に実施していく。
- ⑧ 「きたコン」の使用率を上げていくとともに、「きたコン」の使用ルールを保護者に周知し、連携を図っていく。
- ⑨ 家庭学習の方法を工夫し、児童の基礎的・基本的な学力の定着を図っていく。
- ⑩ 運動の楽しさや意義が分かるような取組を学校の教育活動全体を通して行う。外遊びをより奨励していく。
- ⑪ 警察や消防等の外部の関係機関と連携・協働し、防災教育の更なる充実を図るとともに、より実践的な避難訓練を行っていく。
- ⑫ まなびポケット、配信メール、ホームページ等、対象や目的に合わせた方法を選択し、情報発信をしていく。
- ⑬ 6つの保育園・幼稚園との交流、滝野川紅葉中、フランス学園、王子特別支援学校との交流活動を継続・実施するとともに、活動内容についての広報活動を充実させていく。
- ⑭ 金管バンドクラブについての活動等の様子を広報し、更に認知度を向上させる。また、地域と連携した活動を継続・実施をしていく。
- ⑮ 日頃からの清掃や点検のみならず、児童に校舎をきれいに大切に使う気持ちを醸成する。